

うた ひつじの詩だより

2012. 8. 1
毎月発行 No.137
この裏にはご注文の品と
いっしょにお届けします



毎日暑くて、羊毛の手仕事はあまりはかどりませんね。こんなときは……夏の海辺に思いを馳せて、貝殻の赤ちゃんを作ってみるのはいかがでしょうか。光沢のあるきれいな巻貝の中から、シルクにくるまれた小さな赤ちゃんがそっと顔をのぞかせます。

また、とんがり帽子の指人形は、断ち方、縫い方にいろいろな工夫がこらされているので、ステッチをして、丸い顔の木型を貼り付けて、あっという間に出来上がります。出来上がった人形たちをはめた5本の指先から、いろいろなお話がうまれてきそうです。あまり羊毛を使わない、こんな手仕事が、今の季節にはピッタリですね。

お子さんの夏休みの作品作りにもどうぞお役にください。
(まゆの赤ちゃんと貝の赤ちゃんのキット：1800円/とんがり帽子の指人形5体分のキット：1600円)



8月のテーブル 「海のもごうのそのまたもごう」

今月はあまり暑いのでうんと想像の世界に飛んでしまいました。わだつみ池上王子

作品展のお知らせ

「いつも一緒のウォールドルフ人形」
8/23(木)~25(土)、8/30(木)~9/1(土) 11時~17時、最終日16時まで
絵本の店 星の子 大田区石川町1-26-8 TEL: 03-3727-8505 担当：浜田幸子



以前、皆で作った「藍染めのひつじ雲」について、まりーさんのその後の話です。

山種美術館の一福田平八郎と日本画モダン展に行きました。福田平八郎さんの絵を観るのが目的でしたが、中にかかなり大きな画面に雲ばかりが大きく描かれた絵がありました。その前に立った時、大空に吸い込まれそうな、かき抱かれるような、不思議なつかしい感覚にとらわれて、しばらくその感覚に身を委ねてしまいました。我に返って、作者の名前を見ると、山田申吾とありました。絵のタイトルは「宙」。おおぞらと読むそうです。後で聞くと、連れの友人は皆、山田申吾さんを知っていて、雲ばかり描いている画家さんよ、と教えてくれました。空が好きならまりーさんは「ふーん、雲ばかり描いていてもよかったんだ、自分に正直に好きなことをし続ければよかったんだ」と、今更に後悔し(いや、自分の才能を無視しての話ですが)、申吾さんに、ちょっと嫉妬してしまいました。

ともあれ、奇しくも、みんなで藍染めの雲を染められてよかった！
よし、来る年4月の『ひつじの詩(うた)まつり展』、おおぞらのひつじ雲でがんばる！

鼻息も荒く、勝手に山田申吾さんに誓っているまりーさんです。
えー、もちろん、大好きなウォールドルフ人形にもがんばります。

ばたぼん通信

「蜂」

晴れた昼下がり、蜂さん達がものすごい勢いで巣箱の周りすぐ上空をわんわん回っている時があります。そんな時私は、今日は天気が良いからかな?!とか外敵がきたのかな?!とか思って見ていました。しばらくすると平常を取り戻し騒ぎはおわります。

しかしこの行動は、実は働き蜂の記憶飛行(時騒ぎ)が上手く行った事の喜び讃え合う踊りである事を知りました。

産まれた蜂が初めて飛び立つまでの事を今回は書いてみます。



蜂さんは産まれるとそこから働き蜂としての一生がすぐに始まりです。まず2日程度はまだ何も出来ません。自分の足を使い身体を綺麗にします。食事の蜜は姉さん蜂から貰います。しかし彼女らは実は幼虫の巣枠に張り付き、保温の役目をしています。数日が過ぎるとよいよ姉さん蜂が採ってきた花粉や蜜を口移して受け取り給餌をします。自分の咽頭線から出る乳もあげます。ここまでおよそ12~13日。育児が終わると身体も丈夫になり初めて暗い箱から飛び出して行きます。申し合わせたように頭を巣箱に向けだんだん高く次第に円を書きながら飛び回ります。心配した姉さん蜂は巣の入り口まで出てお尻を高く上げ旋風を起こしココに帰ってくるのよと手助けします。

20~30分くらいで最初の飛行は終わります。無事に帰れた嬉しさを羽をふるわせながら喜び合う仕事を記憶飛行、時騒ぎと呼んでいます。この後まだまだ仕事は生命が尽きるまで変わっていきます。



梅雨の晴れ間のある日、蜂の相談にいつもお世話になっている長野県松本の養蜂場に伺いました。いろいろな事を教わり、たくさんの収穫に頭も心もいっぱいになり、多少浮き足立つ思いでした。しかし40年近く蜂に携わっている名人の口から出て来た言葉は「養蜂は毎々が一年生だからね、自分はまだまだ分からない事だらけだよ」。

浮き足立った気持ちも吹き飛び、この言葉の重みが一番の収穫となりました。

蜂は可愛く、ハチミツはものすごく美味しく、刺されると痛く、そして育てるのは難しい。蜂は私にとってとても魅力的な存在です。

参考にした本：『新しい蜜蜂の飼い方』 / 井上丹治著

〔写真：整然と並んだ巣箱と道祖神~いずれも安曇野にて〕

水谷みどり(鎌倉市在住)

★新しくスウェーデンひつじの詩舎のキットをお取扱いいただくことになったお店です。どうぞよろしくお願いたします。

miyoshi-ya (みよしや) 木のおもちゃと雑貨のお店
〒901-2301 沖縄県中頭郡北中城村字島袋1429CH-1

098-989-9278 (TEL/FAX)

★スウェーデンひつじの詩舎は、8月12日(日)から19日(日)夏休みをいただきます。暑さきびし折、どうぞ自愛ください。

「スペース ペレのあたらしいふく」8月の開店日
1日(水)~11日(土)(日曜日を除く) 10:00~16:30

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当：佐藤治子

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708
相談窓口(金) 寺田裕子 045-881-7035